

団塊世代・元気高齢者地域活性化推進協議会 最終報告（案）に向けて

これまでの意見のまとめ

- 気運づくり
 - ・ある程度の年数を重ねる必要がある
 - ・イベントの目的や趣旨をはっきり出す
 - ・本当に引き込みたい人へアピールする工夫が必要
- きっかけ・地域デビュー
 - ・地域の多様な社会活動を知って体験してもらう
 - ・いきなり社会貢献や地域での活動を期待しても難しい
 - ・興味のあることから始め、地域を知ってもらう
 - ・自分が何をしたいのか、ある程度決めておく
 - ・自分に合った活動から、まず参加することも必要
 - ・「男の台所」という事業が各地で盛んに行われている
 - ・気軽に寄り集まれる地域における「たまり場」が必要
- 企業との連携
 - ・働いているときから地域を知る機会を得る仕組みづくりが必要
 - ・企業のリタイア間近の方へ地域デビューを促す取組をする
 - ・企業の社会貢献活動も地域活動の活性化にとって重要な要素
- マッチング・コーディネート
 - ・地域活動に興味がある方は多いが、実際の活動へと結びついていない
 - ・地域活動へのマッチングをインターネットで行うことも有効
 - ・地域活動の核となる存在や相談等ができるコーディネーター等を養成し、配置することも必要
 - ・ボランティア団体等多くの組織と連携できれば、マッチングの範囲は広がる
 - ・関係団体間で連携するためには、調整するコーディネーターが必要
 - ・市町村レベルでコーディネートするためには、ある程度のスキルが必要
 - ・地域レベルでは、たまり場があれば、仕切る人が自然と出てくる

事業の目的

元気高齢者の社会参加を促進する

- < 効果 > ・地域社会の活性化
 - ・元気高齢者自身の生きがいづくり、閉じこもり防止
- < 課題 > ・きっかけ作り・地域における居場所作り
(どのように参加すればいいのかわからない)

社会参加を契機として、福祉活動へ

元気高齢者が地域の福祉を支える存在になるよう支援する

- < 効果 > ・今後急増が予想される一人暮らし高齢者や見守りが必要な高齢者を支える担い手として期待できる
- < 課題 > ・地域の見守り需要と元気高齢者を結びつける仕組みが必要
 - ・関係団体間の連携が必要
 - ・地域における先進的な取組をいかに普及させるか

具体的な事業展開

- 気運の醸成
 - ・「新しい高齢者像」の発信：イベントの開催、広報の実施
- 情報サイトの構築
 - ・地域の活動、企業の社会貢献活動等を紹介
- 企業とのパートナーシップ
- ふらっとハウス（地域サロン）事業【既存】
- 高齢者地域活動推進者【国】
 - ・「求めていること」と「できること」を結びつける：地域の「キーパーソン」
- 地域包括支援センターの役割の拡張【国】
 - ・住民主体のサービスやボランティア活動等を紹介する
- 生活・介護支援サポーター【国】
 - ・住民参加サービス等の担い手：地域で高齢者の生活を支える
- 区市町村包括事業【既存】
 - ・高齢者の社会活動を促進する事業に取り組む区市町村を支援する
- 高齢者地域見守り事業【既存】
- 老人クラブ友愛実践活動【既存】